第3種郵便物認可

なごや 近郊 AICHI

aichiban@mainichi.co.jp

県議、名古屋市議選あす投票

雨の中 熱い訴え

地域政党の反転なるか

統一地方選前半戦の県議選（定数102）と名古屋市議選（同75）は、12日に投開票される。県議選は無投票区を除く35選挙区（計79議席）で145人が立候補し、雨となった10日も熱い訴えを繰り返した。ともに2011年の前回選は、首長主導の地域政党と国政政党が激突したが、この4年で退潮が続く地域政党が反転のきっかけをつかめるのか、投開票結果に注目が集まる。【統一地方選取材班】

小雨が降る中、市民に駆け寄り、握手する立候補者＝名古屋市中区で（画像を一部処理しています）

15統一地方選

県議選で選挙戦を展開する145人の党派別内訳は、自民42人▽民主31人▽維新12人▽公明5人▽共産11人▽生活1人▽次世代2人▽地域政党・減税日本6人▽無所属17人――となっている。前回は、河村たかし名古屋市長と大村秀章知事が主導した2地域政党が計43人を擁立した。しかし、各党との協調路線に転じた大村氏は今回、会長を務める日本一愛知の会からの擁立を見送り、河村氏率いる減税も4人にとどまる。選挙戦は、単独過半数を目指す自民と、阻止したい民主の争いを軸に展開されている。

一方、名古屋市議選の立候補者の党派別内訳は、自民26人▽民主19人▽維新15人▽公明12人▽共産17人▽社民1人▽減税18人▽諸派（生活など）、無所属の会）8人▽無所属16人――となっている。市議選は、解散に伴う出直し選として行われた前回、減税が41人を擁立し、28人が当選して議会最大勢力へと躍り出た。しかし、今回は半分以下の候補者しか立てられなかった。前回、首長をなくした各党が勢力の拡大を目指してしのぎを削っている。

両選挙とも、投票は12日午前7時～午後8時（一部では投票時間繰り上げ）で即日開票され、同日夜から翌13日未明にかけて大勢が判明する見通しだ。

危険業務従事者叙勲 県内から164人

警察官や消防士ら殉職危険の高い業務に従事した人の功労をたたえる「危険業務従事者叙勲」で、県内からは、瑞宝単光章85人の計164人が受章した。褒章は29日で、内訳は警察官106人▽消防職員30人▽海上保安官3人――となっている。受章者は次のみなさん。（敬称略）

◇瑞宝単光章（79人）

◇防衛功労

杉本伸一（61元・等空尉＝江南）▽田口之敬（61元・等空尉＝一宮）▽小栗勝則（61元・等空尉＝小牧）▽小川勝（61元・等空尉＝豊山）▽落合照夫（61元・等空尉＝小牧）▽小野智昭（61元・等空尉＝東郷）▽小野智昭（61元・等空尉＝小牧）▽藤原勝則（61元・等空尉＝豊山）▽吉村光則（61元・等空尉＝大山）

◇海上保安功労

角田信雄（65元・海上保安官＝豊川）

◇警察功労

青木宏行（71元・警視長＝名古屋）▽近藤明利（71元・警視長＝名古屋）▽坂本盛男（71元・警視長＝名古屋）▽鈴木勝（71元・警視長＝名古屋）▽高橋正（71元・警視長＝名古屋）▽高橋正（71元・警視長＝名古屋）▽高橋正